

太陽幼稚園

金澤市下本多町 北陸女學校附屬第一幼稚園

太陽幼稚園は昭和四年の夏から始めました、北國地方は一年を分割致しますと先づ冬が一番長く十一月の末頃から三月末頃までは雪が降りまして大變寒く又他季にあきましても昨年なども一年を通じて全く晴天だつたと云ふ日は二十幾日しかなかつたと新聞に出てゐた様なわけでございます。それでも小學兒童や女學生、中學生其の他上級の生徒になりますれば雪國にふさわしい運動も少く有りませんから割合に面白く愉快に運動出来る様ですが幼稚園児にとりましては差したる運動も出来ず唯屋内で精々鬼事遊び位なもので屋外に出て

元氣に暖い日光を浴びて愉快に飛び廻ると云ふ事が極少ないのでございます。そうして唯寒くない様に寒くない様にと厚着をさせますので體格検査の時など幾枚も／＼丁度筈の皮をはぐ様にメリヤス、毛糸の物で包み込んでありますから、したがつて體が弱く何んとなくいぢけた様な氣持で明るいはき／＼と活潑なと云ふ子供が少なく他地方から轉任などなさつて途中に入園してゐらつしやつたりするち子様方がほんとうに快活な何となく明るいハキ／＼した様子が實に子供らしく氣持がよろしくうございます。

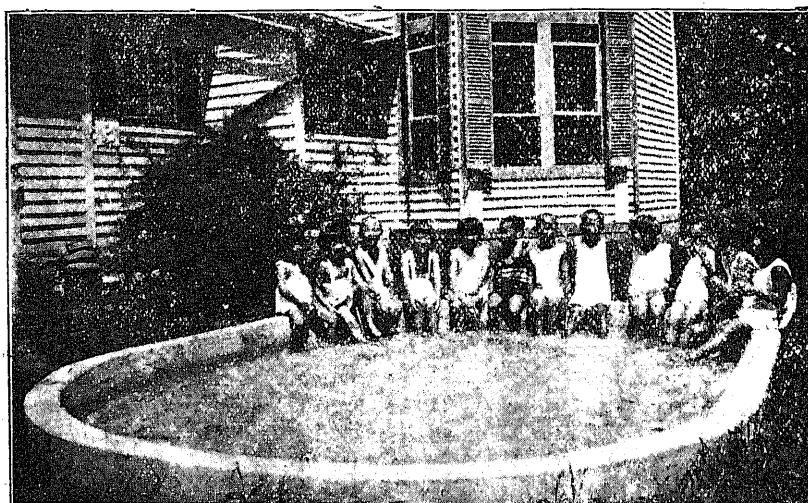
そんな様でございますから殊に體質の弱い子供等一寸寒さが強く雪が澤山降つたり吹雪いたりする時はすつかりしよげてしまつて直ぐ休園すると云ふ風で冬になりますと登園數がぐつと少くなります。

そう云ふ風で氣候が悪く運動不充分な子供たちそして殊に裏日本石川縣金澤地方の乳幼兒の死亡率の多い事は全國で其の第一位或は二位を占めてゐると云ふ實に傷しい結果を見る時に私共保育者は何とかして幼兒の健康を増進させたい希望で園児に毎日幼稚園にて牛乳を飲ませ又毎月體格検査を致し月報として家庭に通知して居りますがもつともつと健康を増進させたいと思ひまして一昨年（昭和四年）から太陽幼稚園と名付け夏季休暇を利 USE 三週間試みてみました最初の時は志望園児は二十七名でございました。

先づ太陽幼稚園の準備としましては園児に着せ

る日光浴着（安い服地で男女の形は一定でございまして身體になるべく日光が當る様な形の物でござります）午睡のために用ひる小敷蒲團、又は毛布、枕、タオル一枚、布か麥稈で作った帽子と唯これだけでございました。太陽幼稚園を始めますのに園醫に詳しく相談いたしまして毎日園醫の外醫科大學から交代で先生に來ていたゞき時間割をきめて致しました。毎日朝九時から午後二時半まで最初の日は園児全體が医者に體重、身長、體溫等色々細かに見ていたゞき太陽幼稚園開始の日から最終までどれほど變化があるかを調べていたゞく事にいたし二日目からは唯特に弱い子供の體溫を計る位にして屋外と屋内の溫度を量つて園児を皆日光浴着に着かへさせ素足にして外に連れ出し砂遊び水鐵砲、ブランコ鬼事遊び等自由に遊ばせ十時頃に手を洗つてやつぱり外でもやつを戴きます。おやつにはビスケットを少しと牛乳一合

づゝ興へました。此の時間は約二十分位で再び自由運動をさせます。子供は唯浴着一枚ですから砂遊びでも水遊びでも自由に喜んで遊びました。暫く遊んですぐ今度は浴着をぬがせ手拭でほうかぶりをさせプールに入れ水泳させます。このプールは子供が大嬉び夢中になつて泳いだり跳んだりして遊びました。プールの水は子供の膝下半分位に水をはり毎日園児歸宅後直ぐ流してはりかへました。プールにはいる時刻は十一時前後ですから前日はつてお



いた水は子供には冷た過ぎないで丁度良くなつて居りました。併し其の時少々熱のある様な子供は絶対に入れませんでした。水泳時間は十分乃至十五分位で止めに致しましたがさああ上り致しませうと申しましても水泳は面白いものですからいつまでもぐづくーデヤブくしてゐて上のを思ひ切れないらしいので、いつも私共一二三で上りしませうね、ハイ一二三といひますと我先きにと喜んで走り上りました。それから樹蔭につれて行き一人々々ぬ

れた身體を拭きまして直ぐ日光浴を致しました。

日光浴は庭内で最も良く日光の當る草原の上に吳坐を引き裸にしたまゝ其の上に臥させました。其の時例の布か麥稈の帽子を頭と目の邊に被せました。これは日光が強く當るのを避ける爲でござります。

日光浴の時間は初日は五分間位で漸次に時間を三分或は五分位づゝ其日の光線の強弱によりまして一日／＼増して行きました。

日光に浴してゐる體はあぶられて熱くなり汗が出て来ます。それで體を自由に横寝でも仰向きにでも時々かへますと日光がまんべんなく當つてよろしゅうございました。しかし子供が熱いと訴へました時には樹蔭にでも連れて行つて身體を涼ませ再び時間の来るまで浴させました。子供はうつむけになつてあぶつてゐますと待屈たのですから先生まだ？まだ？と聞きます。ハイもう少

じですよ一三三といつては仰向けにしたり今度は横向きですよ帽子をやつぱりお頭とお目々の所に被ぶせてハイ一三三と云ふ様に活氣づけ、又帽子を忘れてかぶらない子供を良く氣をつけて被して廻り、耐へず皆さんほんとうに辛抱強いですから段々強くなりますよと云つて活氣付けてさせました。お醫者は溫度や時間を耐へずばかり子供の汗の出具合其の他色々注意して下さいました。

始めの十日位は一二三といつて號令かけたり又出来ない小さい子供には抱いてさせたりいたしましたが馴れるにしたがつてちやんとおとなしく自分で熱くなると身體を變へて玉の様な汗が出てゐるのを見て先生僕こんなに汗が出ましたあら、何々ちゃんと澤山出たなど人のみたり自分のを見たりしてだん／＼こうして強くなれるのだと自覺するやうになりました。こうして時間を量つて日光浴を済しますと一二三といつて皆一緒に起まして

自分のタオルを持つて走つて屋内に入ります屋内にはちゃんと盥に冷水を吸んでおきましてそれで各自のタオルを固くしほり汗の出た熱した身體を丁寧に拭いてやります。子供はこれはほんとうに氣持がよいとみへましてふいて戴く時は皆我先きにと走つて来ました。

ふき終りますと前の日光浴着をきせましてお晝食の用意をいたします。

前に申しませんでしたが私共この仕事のお世話ををしてゐますものは園長と園醫の助手とそして保母四人でございました。

保母は二人づゝ交代で屋外で子供の世話をし他の二人は臺所で其の日の子供のお辨當の御菜を作りました。始め營養の事や子供の嗜好を考へ献立表を作り園醫に一覽を願ひ又隔日に園長先生も西洋料理をして下さいました。

第一回の太陽幼稚園の時はお料理の好き嫌がご

ざいましてお魚が嫌でお香物ばかり食す子供や西洋料理等でも隨分考て西洋の先生が作つて下さるのですが矢張り六ヶ敷しく色々工夫して食べさせましたが、終りには嫌な物も少しは戴ける様になつた子供もありました。第二回目の時は前年の子供もるましたか概して好き嫌が無く日本料理は云ふまでもなく西洋料理に困つた顔をみせる子供は殆ど一人もありませんでした。大抵は少しも残さずきれいにいたゞき中には二度も三度もおかわりをする子供も隨分ありまして食事掛りをしてゐる者にはおかわりが澤山あつたりお皿がきれいになつてゐるのを見るとほんとうに嬉しく感じました。又毎週金曜日にはお食事の後にアイスクリームをこさへて與へましたこれも子供は大喜びで一人も文句云ふ者はありませんでした。さてお食事がすむと一寸休憩し直ぐおひるねをいたします。このため風通しの良い保育室二部屋を寝室として

置きお晝食を戴いてゐる間に食事の給仕をする者と、寝室の蒲團をちゃんと敷いて直ぐ来てねられる様に用意してあきました。

子供一人々々をそつと寝床に入れ汗の良く出る襟首やあごの下邊に園長先生が香粉をふつてそつとなでますとほんとうに喜び寝床に静にはいつて自分の番の廻つて来るのをちゃんと待つてゐました。

子供は寝室にはいるとほんとうに静かですからねつきの早い子供は直ぐ眠つてしまいますが時々神經質の子供が遅くいつ迄も目を開けてやかましい事は云ひませんが手のあもちや等してゐて仲々ねつかない子供がありましたがそんな子供の側に行つて團扇であふぎながらそつと頭や手をなでてゐますとさも嬉しさうにしてゐますがいつの間にかねついてしまいました。そうしては又眠れない子供の側に行きそう云ふ風にしてはねかせつけま

したがもつと寝付きの悪い子はないで隣の子供の足をコツ／＼ついてみたり手を出してあもぢやをしたりして午睡の時間を一睡もしなかつた子供もありましたが皆静にしてやすんで居りますので聲丈けは流石に出しませんでした。こんな風に始めての一週間もつとそれ以上午睡の時間を待屈そうにねてゐてあつちへむきかへりこつちへむきかへりしてねませんでしたが終頃にはとう／＼良くなつく様になり起きた頃になりましても一番終りまで良くねてゐた様な事もあり午睡の習慣をやつとつけました午睡の時は私共は耐へずみまもりあまり風が烈しくあたつたらすれば窓をしめたり寝臺から落ちぬ様に汗等出して暑さうにみへる時は蒲團をすかし團扇であふいだり香粉をそつとふつたりしてをりましたが私共こうした時にも感じました事は小さい子供にもやはり公徳心のある事でしたどんなに待屈でもぢつと静に我慢して時々は小さ

い聲で私共が側に居りますとあのねと話しかけた
うち質問したりした事もございましたが大抵は静で
感じさせられました。

ちかしかつた事は四つになつた坊ちゃんがねる
事はいけないと思つたのでせうか、僕ねないので
いつてだまつて別に悪戯するでも無くふとんの上
に坐つて皆ねてしまつて静で誰も相手になつては
くれないのに話もせず唯目をぱつちりあけて枕を
いちくつ抱いてみたりおいてみたりしてゐる中
に其の儘コツクリ／＼して今にも倒れそうになり

といります。あゝそらね和中さんはねんねしない
のでしたね。ねないで威張つてゐるのでしたね。
さあねてはいけませんよ。大きなお目々あけてゐ
らつしやいねといつて抱いてゐると又ぞろねむり
出すのでした。そうして二度目か三度目でやつと
ねさせつけて床にそつと移すのでした。目があい
て家へかへる時、和中さんねんねしなかつたの？
ときしますと僕しらん間にこうしてゐたと横にね
てゐた格好をしてみせてどつと私共を笑はせまし
た。

そうして午睡は大抵一時間乃至一時間半位にし
てあまりねすぎてる子供はそつと起して廻りま
すとふら／＼しだすのであぶなくてみてあれな
いのです。ぢや先生だつこして上げませうねとい
つて抱いてあげるとしばらく目を開けてゐますが
段々目がふさがつて行くのでさあもういゝだらう
と思つて横にすると、うん僕ねないのねないの、

じいて平常着ときかへて家へかへるのでござります。

尙敷布や日光浴着枕かけ等よびますと家へもなせてかへし洗濯をして用ひました。又ぬいだ日光浴着は直ちに日光にて良くかわかし明日のため用意しておきました。

さて結果でございますが太陽幼稚園が始る時園醫に子供の體重身長其の他色々みていたどきましたが、最終に又量りました時はみんな量が増して居りましたし子供の體は大變日にやけて黒く目に見えて元氣さうになりました。御家庭の方々の申されますのに「宅の子供は冬になりますともうとても良く風邪を引きお薬の絶間がないのですが今年はおかげ様で風邪はまだ冬になりますから一度も引きませんのでよろこんであります。太陽幼稚園が來年もござりますなら小學校に行きましてもち仲間に入れていただき度うございます。」と云

つて喜んで下さった方々もございました。訪問致しましたり母の會の折り伺ひますと「ほんとうに結構でございました。去年は今頃温泉に行くやら色々いたしましたけれど今年は割合に丈夫でよろこんで居ります。」といわれた方や、又午睡をする癖がついてうれしいと申された方もありましたし、子供にお家でもひるねなさいますかとき、ましたときやはり四五名いつもおひるねをしますといつた子供もございました。私共太陽幼稚園をしてゐる時日によく黒く焼けついて行く子供の體を見、シャンと心地良げにやすんでもる様子を見まして何かきつと幾分でも好結果があるだらふと樂しみつゝ日々働いてゐました。そうして毎朝大抵こんな歌を子供さんといつしょに歌つて必ず實行する様にお話し致しました。

この歌は何か健康に關する物をと物色してみましたが見當りませんので私共で作つた實に拙い物

ですがやさしい節をつけて左の歌をうたいまし
た。

1、朝は早くお目々をさまし
ニコ／＼元氣でおきよ／＼

2、楊子を用ひお口を注ぎ

お顔もお手々もきれいに洗ひ

3、冷水磨擦は體のためよ

體操も忘るな朝食の前に

4、障子やお窓をすつかりあけて

きれいな空氣と日光を入れよ

5、お乳に果物野菜に肴

お肉も食べて強くなれ

6、湯浴みをするのは夕食の前よ

夜は早くねむれ／＼

それから参考のために太陽幼稚園の時間割を左
に印します。

九時——九時三十分(歌をうたつたり)
(お話を聞く時間)

九時三十分——九時四十五分(日光浴着にきかへたり
熱をはかつたりする時間)

九時四十五分——十時三十分(砂遊び、水遊び、グラ
ンコ、鬼事遊び等する時間)

十時三十分——十時四十五分(おやつをいたゞき
牛乳を呑む時間)

十時四十五分——十一時(自由遊び前と同様)

十一時——十一時十五分(アーリにて水泳する時間)

十一時十五分——日光浴

十二時お晝食

十二時四十分頃より 午睡の時間

二時半に歸宅